

赤穂市立有年考古館 平成30年度特別展

# SALTI!

～赤穂の塩とその歴史～

会期

7.25 →  
9.24



江戸時代の焼塩壺  
(赤穂市 赤穂城跡)

主催：赤穂市立有年考古館・神戸新聞社 後援：サンテレビジョン・ラジオ関西・NHK 神戸放送局

赤穂市立有年考古館 平成30年度特別展

# SALT!

～赤穂の塩とその歴史～

全国的に有名な赤穂の「塩」。

その歴史は約 1,800 年前の弥生時代に始まります。

塩づくりの始まったころ、赤穂は全国に数多くある塩の産地の1つに過ぎませんでした。

しかし、江戸時代には全国を代表する塩の産地にまで成長し、全国各地に赤穂の塩が運ばれていきました。

今回の展示では、弥生時代から現代までの塩づくりの歴史を紹介し、赤穂がなぜ塩の名産地になったのか、その理由に迫ります。



弥生時代の製塩土器  
(赤穂市 東有年・沖田遺跡)



弥生～奈良時代の製塩土器 (赤穂市・堂山遺跡)



昭和30年代の赤穂塩田 (株日本海水 旧蔵資料)

## 記念講演会開催!

(事前申込不要・参加無料・会場は有年公民館 時間はいずれも 13:30～15:00)

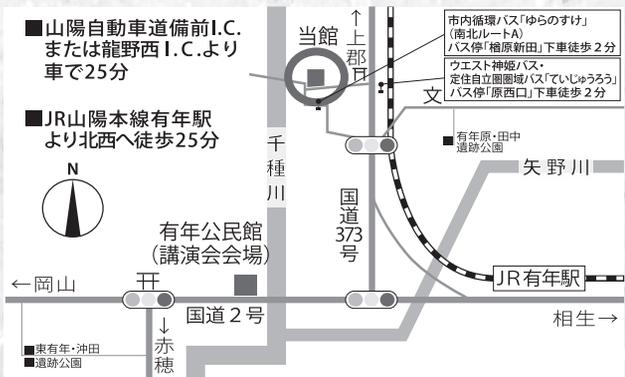
8月5日(日) 講師: 大久保 徹也 氏 (徳島文理大学教授)

「古墳時代の塩生産とその流通～備讃瀬戸・播磨灘産塩を中心に～」

9月1日(土) 講師: 荒木 幸治 (赤穂市学芸員)

「赤穂の塩業遺産」

講演会会場は有年公民館 (赤穂市東有年 439-1) となりますので、ご注意ください。



うね  
赤穂市立有年考古館



〒678-1181 兵庫県赤穂市有年檜原1164番地 1

TEL・FAX 0791-49-3488

入館無料

■開館時間■ 10時～16時 (入館は15時30分まで)

■休館日■ 火曜日

■Webサイト■ 「赤穂市立有年考古館」で検索!